

提案書の様式および作成記載例

「評価項目一覧」(別添 5) の評価が可能となるよう、以下の要領および記載例に基づいて提案書を作成する。

1. 提出書類は、日本語(専門用語など必要な部分は除く)で、ワードプロセッサで作成すること。
2. 用紙は、A4版を使用し、左とじとすること。
3. 提案書は、3部(正1部、副2部)を提出すること。
4. 部分提案は受け付けられない。
(部分提案とは、仕様書に定める業務内容の全てではなく、業務内容の一部についてのみ提案を行うことを示す。)
5. 提案書は、記載例を参考に、以下の構成で作成すること。
 - ・表紙 ①件名 ②日付 ③会社代表者氏名(代表者押印のこと)
 - (1) 提案書要約
 - ①件名
 - ②担当者氏名
 - ③担当者連絡先
 - ④実施計画の要約
 - ⑤業務の実施体制
 - (2) 実施計画およびその内容
 - (3) 業務のスケジュール
 - (4) 業務の実施体制
 - (5) 関連業務の実績
 - (6) 業務従事予定者の経験、実績、知識に関して
 - (7) その他

(記載例)

平成24年度
「二酸化炭素削減技術実証試験事業
(国庫債務負担行為に係るもの)」のうち
「二次元弾性波探査ベースライン観測」

提案書

平成25年7月〇日

〇〇〇〇〇〇株式会社
代表者役職名 代表者氏名 (印)

(1) 提案書要約 (記載例)

件名			
担当者氏名		担当者連絡先	
実施計画の要約			
業務の実施体制			

(2) 実施計画および内容 (様式は自由)

1) 業務の実施方針

2) 業務の実施方法

① データ取得 (観測)

② データ処理ハードウェア

弾性波探査データ処理に使用するコンピュータハードウェアについての情報を記載すること。
(CPU、記憶容量、周辺機器類など)

③ データ処理ソフトウェア

弾性波探査データ処理に使用するソフトウェアについての情報を記載すること (種類、ライセンス数など)。また、データ処理 **QC** ソフトウェアを有している場合は、その情報を記載すること。

(3) 業務スケジュール (記載例)

契約締結日～平成 26 年〇月〇日

業務内容		スケジュール							備考
(1)	①								
	②								
(2)	①								
	②								
(3)	①								
	②								
(4)	①								
	②								

(4) 業務の実施体制

1) 組織および実施体制

2) 業務遂行のための経営基盤・管理体制

入札者の財務状況と経理処理体制および証拠書類等の整理・保管体制を記載すること。

(過去3年分の営業報告書、パンフレット等の会社概要説明資料を含む。)

また、ISO9001を取得している場合は、それが確認できる資料を提出すること。

3) 実施場所

仕様書に定める業務内容のうち、データ処理に関し実施場所を記載すること。

4) 外注先の有無

5) その他(業務実施にあたっての知見の有無、アピール、バックアップ体制など)

(5) 類似業務の実績（記載例）

1) データ取得（観測）

年月	内容・実績（主な成果など）	備考

*類似した業務の実績に記載する内容は、至近10年の実績とし、最大5件として下さい。

2) データ処理

年月	内容・実績（主な成果など）	備考

*類似した業務の実績に記載する内容は、至近10年の実績とし、最大5件を記載のこと。

(6) 業務従事者の経験、実績、知識について

(主たる従事者の所属、氏名、職位、類似業務の実績など)

(7) その他

業務を受注するにあたっての要望事項があれば記載すること。

以 上

評価項目一覧

評価項目	評価基準	配点	基礎点	加点	評価点	必須
1. 実施計画および内容						
業務実施の基本方針の 的確性	・ 入札説明書記載の業務内容について全て提案 されているか。	20	10	—		○
	・ 調査手法やデータ処理手法に工夫やリスク検 討がなされているか。			10		
業務実施方法の実現 性、明確性（現場作業）	・ 業務実施の方法が明確に示されているか。 ・ QC 手法の有無、妥当性は十分であるか。	10	5	—		○
	・ 十分な資機材を有し、高い実現性を有する。 ・ 仕様書の内容を遂行する上で、独自の技術提 案がある。		—	5		
業務実施方法の実現 性、明確性（データ処 理作業）	・ 業務実施の方法が明確に示されているか。 ・ QC 手法の有無、妥当性は十分であるか。	10	5	—		○
	・ 仕様書の内容を遂行する上で、独自の技術提 案などがあるか。		—	5		
2. 業務スケジュール						
業務実施計画の妥当性	・ 実施計画、日程に無理がないか。	15	5	—		○
	・ 合理的な業務実施計画により的確に短期間で、 高い成果を提供できるものになっているか。		—	10		
3. 業務実施能力・業務実施体制						
組織としての業務実施 能力	・ 弾性波探査データ取得、データ処理に広範な 知見・技術を有しているか。 ・ 実施体制は、十分であるか。 ・ 組織の経営資源は問題ないか。	10	5	—		○
	・ 優れた情報収集能力を持っているか。 ・ 業務を円滑に実施するために必要な資金など に関して十分な管理能力を有しているか。		—	5		
業務実施にあたっての バックアップ体制	・ 業務の実施が困難になったときの人的補助体 制があるか。 ・ 業務を管理する管理者の経験・知識は十分か。	5	—	5		

4. 実績						
類似業務の経験・実績 (データ取得・データ処理)	・過去に同様な調査（現場データ取得）を実施した豊富な実績を有する。	10	－	5		
	・過去に同様なデータ処理を実施した豊富な実績を有する。		－	5		
業務に関する専門的知識・知見など	・業務内容全体に関し、十分な知識・知見を有しているか。 ・業務に内容に関する法的対応（許認可・申請など）の知識を持っているか。	10	5	－		○
	・業務内容に関する人的ネットワークを持っているか。		－	5		
従事者の業務歴・資格	・従事者は、業務を実施する上で十分な技術力・資格などを有しているか。	10	5	－		○
	・豊富な経験、高い技術力を有した要員を多数有している。		－	5		

* 提案書の評価点の最高配点を100点とし、評価点を与える各項目についての配点基準によって配点を行い、合計の技術点を得点とする。

* 各項目の配点は、満点の場合、各項目に記載している点数となり、全く対応できていない項目の場合は、0点が配点となる。

* 必須項目の要求が満たされない場合、その提案書は不合格とする。

* 価格点は、入札による評価の最高配点を50点とする。